



第36回 かりがね祭り(富士市)で砂防事業をPR

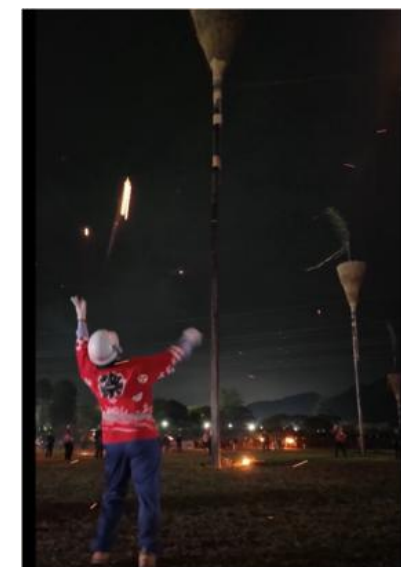
富士川の氾濫による被害を防ぐため、江戸時代前期に完成した堤防「かりがね堤」。その偉業を、後世に継承する「かりがね祭り」に参加しました。土砂災害や砂防堰堤の効果などを映像や模型を使い、富士山の砂防事業について紹介し地域の皆さんに理解を深めていただきました。

○イベント概要

- ・日にち：令和7年10月4日(土)
- ・時間：12時～20時00分頃
- ・場所：富士川かりがね堤 雁公園
- ・主催：かりがね祭り実行委員会
- ・参加者：約170人(当ブース来場)
- ・内容：事業説明パネル
土石流模型
土石流キャッチャー
地すべり対策模型
3D溶岩流シミュレーター
など



多くの皆さんにご来場いただきました



夜に行われた
投げ松明・打ち上げ花火



模型やパネルを使って
施設の効果を説明



暗くなっても展示エリアは大人気

○当日の様子

断続的に小雨が降る天気でしたが、多くの皆さんが「かりがねまつり」に来場されました。

土石流模型を使った砂防堰堤の効果の説明や、ラジコン模型を使って堰堤に溜まった土砂撤去に挑戦するなど展示エリアを訪れた子供たちは興味津々。どこで砂防堰堤を見ることが出来るか？溜まった土砂はどうするのか？など多くの質問が寄せられました。